

中学校  
英語

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実 学習活動アイデア例

第3学年 「日本文化を紹介しよう」

1 単元のねらい

この単元では、日本を訪れる予定のALTの家族に日本の魅力を知ってもらうために、詳しい情報や自分の考えを踏まえて日本文化を紹介する文を書く学習活動を行います。この学習活動を通して、事実や自分の考えを整理し、まとまりのある文章を書く資質・能力を育成することをねらいとしています。

2 単元における一体的な充実を図るためのアプローチ

この単元では、まず、単元の導入において、単元の目標やルーブリックを確認することで、生徒一人一人が見通しをもって学習に取り組むことができるようにします。次に、学習到達度等に応じた学習計画を立てるようにすることで、生徒一人一人がそれぞれの目標の達成に向けて、自分に合った方法で学習を進めることができるようにします。その際、必要なときに、友達や教師に分からないことを聞くなどして学び合うことができるようにします。単元の終末においては、校正した紹介文を1人1台端末で共有し、改善する学習活動を設定することで、よりよい表現や内容について、学びを深めることができるようにします。なお、学習活動に応じてICTを活用します。

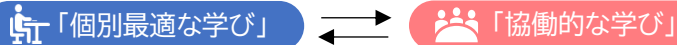
3 単元の計画（全4時間）

時	ねらい(■) 主な言語活動等(・)
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>■単元の目標を理解する。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の目標やルーブリックを確認し、自己目標を設定する。</li> </ul> </li> <li>■コミュニケーションを行う目的や場面、状況などを把握し、日本文化を紹介する文を書く。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書本文にある日本文化の紹介記事を読み、その概要を捉え、捉えた内容について伝え合う。</li> <li>・紹介する日本文化を決め、紹介文を書く。</li> </ul> </li> </ul>
2~4	<ul style="list-style-type: none"> <li>■日本を訪れる予定のALTの家族に紹介する日本文化について、詳しい情報や自分の考えを整理して、まとまりのある文章を書く。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1時で書いた紹介文と自己目標を照らし合わせて、修正点や課題を把握する。</li> <li>・学習活動A~Gから、必要な学習活動の選択と配列を行い、学習計画を立てる。</li> </ul> </li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; width: 30%;"> <p>A 情報の収集</p> <p>B 内容の検討(マッピング等)</p> <p>C 構成の検討</p> <p>D 語彙や表現の修正や改善</p> <p>E 文法の確認</p> <p>F 文章の修正や改善</p> <p>G 他の文章との比較や参照</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 30%; text-align: center;"> <p>生徒の学習計画(例)</p> <p>B 内容の検討(マッピング等)</p> <p>↓</p> <p>D 語彙や表現の修正や改善</p> <p>↓</p> <p>E 文法の確認</p> <p>↓</p> <p>C 構成の検討</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 30%; font-size: small;"> <p>把握した修正点や課題と学習活動との関連を踏まえて、生徒自身で配列し、学習計画を立てることができるようにします。</p> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習計画に沿って、学習活動を行う。</li> <li>・第1時で書いた紹介文を校正し、共有する。</li> <li>・共有したことを基に、紹介文を見直し、改善する。</li> <li>・自己目標の達成状況を振り返り、次の課題を明確にする。</li> </ul>
後日	パフォーマンステスト「書くこと」

## 4 学習活動アイデア – 指導の工夫例 –

※下線部…「個別最適な学び」や「協働的な学び」におけるICTの活用に関わる部分

「3 単元の計画」の第2～4時の一部における指導の工夫例について以下に示します。



- 〈学習活動〉
- ・第1時で書いた紹介文と自己目標を照らし合わせて、修正点や課題を把握する。
  - ・学習活動A～Gから、必要な学習活動の選択と配列を行い、学習計画を立てる。
  - ・学習計画に沿って、学習活動を行う。
  - ・第1時で書いた紹介文を校正し、共有する。
  - ・共有したことを基に、紹介文を改善する。

学習計画を立てる際は、必要な学習活動を生徒自身で選択できるようにしましょう。そうすることで、生徒一人一人がそれぞれの目標の達成に向けて、自分に合った方法で学習を進めることができます。また、必要なときに、言語面や内容面において分からないことを聞くなどして学び合うことができるようにしましょう。単元の終末においては、校正した紹介文を1人1台端末で共有し、改善する学習活動を設定することで、学びを深めることができるようにしましょう。



### 学習活動の具体

- ・第1時で書いた紹介文を共有することで、修正点や課題を把握する。
- ・どの学習活動が必要なのかを考え、A～Gから選択する。
  - A 情報の収集
  - B 内容の検討（マッピング等）
  - C 構成の検討
  - D 語彙や表現の修正や改善
  - E 文法の確認
  - F 文章の修正や改善
  - G 他の文章との比較や参照
- ・選択した学習活動を配列し、学習計画を立てる。
- ・学習計画に沿って、学習活動を行う。
- ・第1時で書いた紹介文を校正し、共有する。
- ・共有したことを基に、紹介文を見直し、改善する。

#### 見通しの設定

- 自己目標を基に、第1時で書いた紹介文の修正点や課題を把握し、学習活動の見通しをもつことができるようにする。



#### 個に応じた学習活動の設定

ICT

- 学習計画を立てる際は、必要な学習活動（A～G）を生徒自身で選択することができるようにする。その際、選択する数や必要な時間も生徒自身で設定することができるようにする。また、学習履歴（スタディ・ログ）を活用して、学習の進捗状況を把握し、支援の必要な生徒に、より重点的な指導を行うようにする。



#### 個に応じた教材の提供

ICT

- 学習活動（A～G）に取り組む際は、複数の教材（ワークシートやインターネット、ドリル教材等）を提供することで、自分に合った方法で学習を進めることができるようにする。



#### 学び合うことができる機会の提供

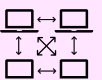
- 学習計画に沿って、学習活動を行う際は、必要なときに、友達や教師に聞くことで、どのような表現を使えばよいのか、どのような内容が適切なのかなどを学び合うことができるようにする。



#### 共有する場面の設定

ICT

- 単元の終末において、学んだことを基に、第1時で書いた紹介文を校正し、完成した紹介文を1人1台端末等で共有できるようにする。



#### 学びを深める学習活動の設定

- 共有したことを基に、紹介文を見直し、改善することで、よりよい表現や内容について、学びを深めることができるようにする。

